

授業科目名	小 児 看 護 I			担当教員	大重 育美、松中 枝理子	
開講年次	2年後期	セメスター	4	時間数(単位数)	30 (2)	
必修選択	必修	授業形態	講義	使用教室		
授業の目的	子どもの成長・発達を生涯発達の視点から理解し発達の評価を学ぶ。成長・発達する子どもとその家族を含めた社会的環境との関係を理解し、健康問題の解決への手がかりを学ぶ。					
到達目標	1. 子どもの成長・発達に関する理論と特徴を説明できる 2. 子どものフィジカルアセスメントの特徴を述べるができる 3. 子どもの成長・発達の特徴を踏まえた援助を述べるができる 4. 子ども・家族の諸統計、家族看護理論を述べるができる 5. 子どもの健康に関わる法律・施策、小児看護の目標および役割を述べるができる					
ディプロマポリシーにおける科目の位置づけ	さまざまな場、ライフステージにある個人及び集団の中でも、リプロダクションサイクルにある人々の理解を深めるための科目である。小児看護学領域の基礎知識を学び、小児看護Ⅱの基盤となる科目として位置づけであり、小児全般にかかわる際に「人間の尊厳と権利を擁護する力」を身に着けることを目指している。					
ディプロマポリシーとの関連	人間の尊厳と権利を擁護する力	自己教育力	チームで働く力	問題解決力	看護の専門性を探究する力	
	◎			○		
授業計画						
回	授業内容	授業方法	学修課題 (予習・復習)	取組時間	担当者	
1	小児期にある対象の理解と看護	講義	P28 演習課題 1～7 (予習)	2時間	大重	
2	小児看護の特質	講義	P53 演習課題 1～7 (予習)	2時間	大重	
3	子どもの最善の利益にかなう医療・看護 子どもの人権	講義	P84 演習課題 1～7 (予習)	2時間	大重	
4	小児看護における概念と理念	講義	P111 演習課題 1～8 学生に各発達理論に関するプレゼンを課す (これまでの学修の復習を行い、課せられた課題の予習を行う)	2時間	大重	
5	小児を取り巻く医療の変遷と課題	講義	P128 演習課題 1～4 (予習)	2時間	大重	
6	小児の成長・発達と看護 (発達の基本)	講義	P241 演習課題 1～7 (予習)	2時間	大重	
7	小児の成長・発達と看護 (発達評価法)	講義	学生に各発達評価法に関するプレゼンを課す (これまでの学修の復習を行い、課せられた課題の予習を行う)	2時間	大重	
8	小児の成長・発達と看護 (日常生活援助の視点)	講義	事前に課題提示 (これまでの発達課題を復習した上で、課せられた課題の予習を行う)	2時間	大重	
9	母子保健の動向、小児保健統計、母子保健対策からみる小児看護の視点	講義	学生に母子保健統計結果に関するプレゼンを課す (予習)	2時間	大重	
10	小児を守る法律と制度	講義	P274 演習課題 1～6 (予習)	2時間	大重	

11	子どもの虐待に関する小児看護の役割	講義	子どもの虐待についての制度、行政・地域の取り組みについて事前学修(予習)	2時間	ゲストスピーカー
12	障害をもつ子どもと家族に向けた小児看護	講義	事前に課題提示(予習)	2時間	松中
13	発達障害のある子どもと家族の看護	講義	事前に課題提示(前回の復習を行った上で、課題の予習を行う)	2時間	松中
14	子どもの事故防止と安全教育(家庭内と施設内)	講義	事前に課題提示(予習)	2時間	大重
15	小児看護 I の総括	講義	小児看護 I における学習内容の中で理解不十分だった箇所についての整理を行う(復習として、これまでの授業資料を確認しておく)	2時間	大重 松中
先行履修科目					
テキスト	松尾宣武、濱中喜代:小児看護学概論 小児保健.メヂカルフレンド社,平成28年第5版第7刷.				
参考文献	厚生労働統計協会:国民衛生の動向 2016/2017. 厚生労働協会, 2015. 二宮啓子、今野美紀:小児看護学概論 改訂第3版. 南江堂, 2016. 二宮啓子、今野美紀:小児看護技術改訂第3版. 南江堂, 2016.				
評価方法	定期試験(90%)、課題(10%)				
教員等の実務経験	小児看護領域の臨床経験のある教員が、その経験を活かして、小児看護について講義します。				
メッセージ	出生から思春期もしくは青年期までの幅広い対象の特性と看護を学ぶ科目です。各回で学ぶ内容を知識として定着するために事前課題を学修し、講義に臨んでください。数名の学生には課題についてのプレゼンテーションを実施してもらいます。学内演習時には、小児看護に必要な基礎的技術を習得してもらいます。				